

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年10月16日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年10月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【乾式キャスク仮保管設備の使用済燃料乾式キャスク(6F)蓋間圧力増幅器(B)の不具合について】 当社運転員が、乾式キャスク仮保管設備の使用済燃料乾式キャスク(6F)蓋間圧力に異常を示す警報発生を確認。 現場確認の結果、圧力増幅器(B)の表示に異常があり、故障と判断。 なお、蓋間圧力検出は二重化されており、(A)の蓋間圧力検出は健全であることから圧力監視に影響なし。 故障が確認された圧力増幅器(B)を交換し、異常がないことを確認済み。</p>	GⅢ	10月11日
2	<p>【大型機器除染設備の空気圧縮機(C)試運転に伴う安全弁の動作継続について】 当社社員が、定期点検中の大型機器除染設備の空気圧縮機(C)の試運転において、本体に付属している安全弁の動作が継続していることを確認。 当該空気圧縮機を停止し、安全弁の動作停止を確認。 現場確認の結果、当該空気圧縮機の「負荷・無負荷運転」を制御する電磁弁の不良のため負荷運転が続き、安全弁の動作が継続したと推定。 空気圧縮機は6台あり、他の5台で除染作業が可能であることから影響なし。 今後、原因の詳細調査を実施。</p>	GⅢ	10月12日